

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

森西正議員

6 複数校合同による部活動実施について

【質問1回目】

○森西正議員 複数校合同部活動実施についてですけれども、中学校部活動は目的に向かって努力する力を養う、団体の中でコミュニケーション能力を高める、上下関係を培うなど、教室で学ぶことができない、社会に出て大切なことを学ぶ場として大きな意義があるというふうに思います。

平成24年第4回定例会において質問をさせていただき、今後は各校が合同部活動の編成、運営を積極的に準備していけるよう、市としての方針の作成や合同部活動実施のルールづくりを進める予定であるという答弁でしたが、その後の進捗状況をお聞きします。

【質問1回目への答弁】

○登阪次世代育成部長 複数校合同による部活動実施についてのご質問にお答えいたします。

今年度の部活動入部率は、昨年度より2ポイント上昇し、89%でございました。本市の中学生の部活動に対する期待は引き続き高いものとなっております。

一方で、議員ご指摘のとおり、中学校の部活動編成状況が生徒、保護者のニーズ全てに沿ったものでないという状況も一部にはございますので、本市の部活動の実態や課題を把握し、部活動のあり方についてまとめるため、昨年度より中学校部活動振興相談員を配置しているところでございます。

部活動振興相談員は各校を訪問し、経験の

浅い教員の指導を行う中、大阪府中学校体育連盟が示す合同部活動実施のためのルールについて確認し、各校へ周知してまいりました。特に、今年度からは複数校による合同部活動の公式戦参加の条件も緩和されておりますので、各校の実態に基づく相談があれば対応できるよう準備しております。

一方、希望する部活動が自校にないため、隣接する他校の部活動へ参加する生徒を認める、いわゆる拠点校方式部活動については、大阪府中学校体育連盟としても公式戦の参加条件等について検討中でございます。今後、実施のための条件整備やルールづくりについて確認しながら進めていく予定でございます。

【質問2回目】

○森西正議員 複数校合同部活動実施についてですけれども、中学校に自分が活動したい部活動がなくて、素質やセンスがあったとしても、中学生段階で将来の人生の選択肢から途絶えさせてしまう、諦めさせてしまっているということになってしまっているのではないかと。今の生徒にとっては、今何とかしてあげなければならないというふうに思いますけれども、摂津の中学校はどこの中学校に行っても平等に将来の人生が選択できるようにするのが、これが教育委員会の責務だというふうに思いますけれども、複数校合同部活動並びに拠点校方式部活動の両方式の早急な整備、実施を、これは要望とさせていただきますので、よろしくお願いします。